

【授業科目】 老年看護学演習Ⅱ (老年看護学の研究方法) Advanced Seminar of Gerontological Nursing II

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
三好 陽子	1年次後期	選択	2	60	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>老年看護学に関する修士論文作成に向けて、文献を批判的思考により検討する能力を身につける。 文献検討においては、研究テーマ、研究の問い、研究デザイン、研究方法等について分析し、老年看護学の研究方法の特徴について理解を深め、自己の研究課題を明確化する。 形式は演習によりレポートを作成し、学生のプレゼンテーションを取り入れる。 授業は、実務家教員(三好)が進める。 課題に対するフィードバック方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。</p>					
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①老年看護学における研究の動向と課題について、自己の見解を述べることができる。 ②老年看護学に関する量的研究の特徴についてレポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。 ③老年看護学に関する質的研究の特徴についてレポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。 ④老年看護学に関する文献検討を行い、その結果をプレゼンテーションすることができる。 ⑤老年看護学における研究方法の特徴をふまえて、自己の研究課題を明確化することができる。</p>					
時間外学習に必要な内容・時間	<p>紹介した文献や配布資料は、よく読んで、授業内容の理解や授業での意見交換に生かす(2時間)。 課題に関しては、自らも文献検索・検討を行いプレゼンテーションやレポート作成に生かす(2時間)。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>1～2 老年看護学における研究の動向と課題</p> <p>3～5 老年看護学に関する量的研究</p> <p>6～8 老年看護学に関する質的研究</p> <p>9～11 老年看護学に関する研究の特徴:プレゼンテーション</p> <p>12～14 老年看護学に関する研究の文献検討(1):量的研究の論文紹介と検討</p> <p>15～17 老年看護学に関する研究の文献検討(2):質的研究の論文紹介と検討</p> <p>18～20 老年看護学に関する研究の文献検討(3):プレゼンテーション</p> <p>21～29 老年看護学の研究方法:自己の研究課題に関する文献レビュー プレゼンテーション・ディスカッション 自己の研究課題の明確化</p> <p>30 まとめ</p>					全て 三好
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。					
教科書	なし		参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。		